

臨床放射線

編集委員

後 閑 武 彦
橋 本 順
今 井 裕
栗 原 泰 之
森 壱
山 下 孝
中 村 和 正

編集協力委員

畠 中 正 光
小 川 恭 弘
松 永 尚 文
森 宣
村 田 喜 代 史

編集後記

▶今回より、新しく編集委員に加えて頂きました浜松医科大学放射線腫瘍学講座の中村です。23 年間、編集委員として放射線治療領域を担当された山下孝先生の後任となります。山下孝先生、長い間、素晴らしい数々の企画をご提案くださり、本当にありがとうございました。山下先生の後任の役割を果たすことができるか、はなはだ不安ではありますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

▶実は、研修医 1 年目の時に、医師になってはじめて書いた論文（症例報告）が本誌に掲載されて、非常にうれしかったのを覚えています。その時に執筆を直接ご指導いただいたのは、前編集委員であった蓮尾金博先生になります。このようにご縁のある「臨床放射線」の編集委員に加えていただいたことの巡り合わせに、大変感謝しております。

▶さて、放射線治療は、定位放射線治療、強度変調放射線治療、画像誘導放射線治療などを高い精度で実現できる放射線治療機器や周辺機器が大きく発達してきました。それらに加え、新規の分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤との併用や、その治療後の救済治療に大きく力を発揮することがだんだんと明らかになってきています。また、転移があっても、原発巣を治療することにより予後が延びる可能性が指摘されていますし、オリゴメタスタシスでは、病変すべてに放射線治療を実施する試みも行われています。近年²²³Ra が保険適用となりましたが、様々な α 線放出核種が本邦でも臨床に応用されるようになるかもしれません。粒子線治療の適応も広がっています。緩和照射も重要な分野です。免疫チェックポイント阻害剤併用時のアブスコパル効果にも注目が集まっています。放射線治療はある意味、大きな発展期を迎えているのでは、などと感じています。そのような放射線治療の最先端を編集委員として読者の皆様にうまく伝えることができれば、と考えております。また、貴重な症例報告や、技術、情報提供も大歓迎です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

中村和正

「臨床放射線」第 63 巻 第 3 号

2018 年 3 月 10 日発行（毎月 10 日発行）

定価（本体 2,600 円＋税）

年間購読料金 定価（本体 39,700 円＋税）

[年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福 村 直 樹

〒 113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。